

MarineDiscovery 9

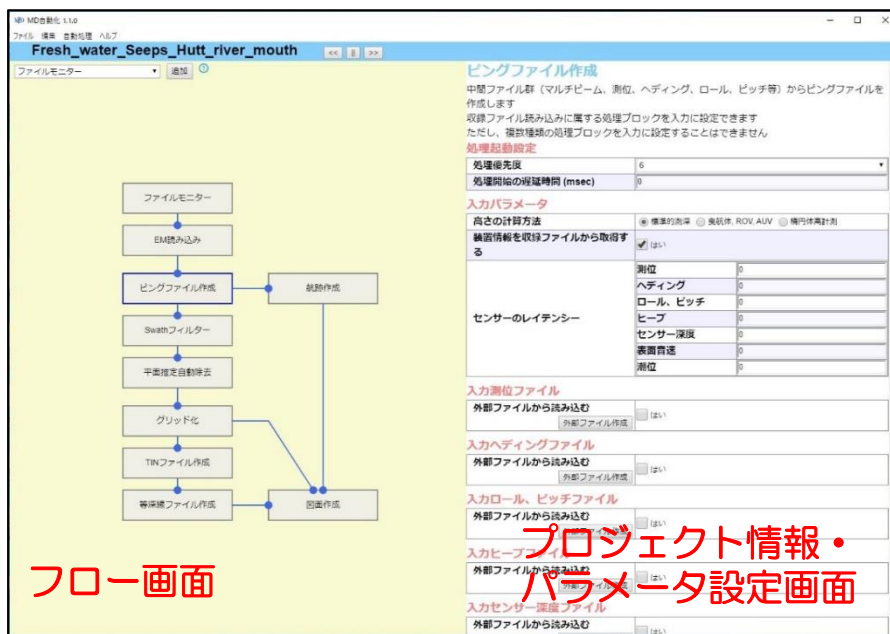
測量データ自動処理・自動図化機能

船上でリアルタイム処理が可能！

画面上のフロー図を利用し処理手順及び処理パラメータをあらかじめ設定すると、音響測深データを、設定したパラメータに従い補正・解析処理並びにノイズ除去を自動的に処理するソフトウェアです。

船上で、収録ソフトウェアがファイルを作成すると、それをサーチしてマルチビーム音響測深機の測深データの補正、ノイズ除去および図面作成を自動で行います。

収録ソフトウェアと組み合わせれば、船上で測量作業を行いながら、処理結果を表示することができます。



フロー画面

プロジェクト情報・
パラメータ設定画面

メインウィンドウ

処理機能

- ファイルモニター
- 収録ファイル読み込み
- ピングファイル作成
- 航跡ファイル作成
- 補正・TPU 計算

動的喫水補正
潮位補正
基準面変換
TPU計算

- フィルター

ヘディングフィルター
ロールフィルター
ピッチフィルター
ヒーブフィルター
TPUフィルター
swathフィルター
水深フィルター
ビームフィルター
オーバーハングフィルター
平面推定自動除去
エリアフィルター

- CUBE

Assimilation
Disambiguation
CUBEフィルター

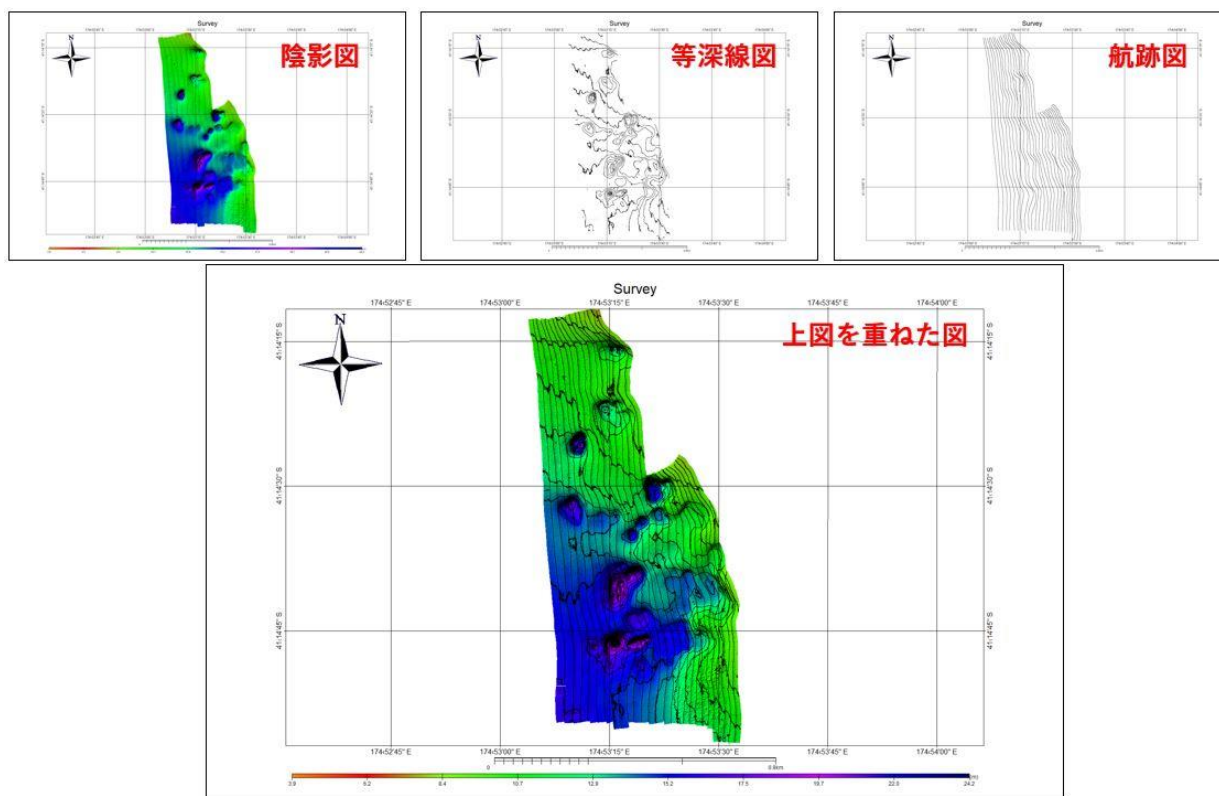
- グリッド化
- グリッド補間
- TINファイル作成
- 等深線ファイル作成
- 差分・土量計算
- 図面出力

自動処理機能

- 測量データの読み込みからデータの補正、フィルターによるノイズ除去、図面出力までの作業を自動で行うことができます。
- 処理手順はフローチャートで任意に組み込み可能です。
- ご使用の測深器に合わせた処理パラメータの設定が可能です。また、音速度ファイル、潮位ファイル等は外部ファイルの読み込みも可能です。

自動図化機能

- 段彩図、陰影図、等深線図、航跡図等を自動作成します。出力する画像はビットマップ、PDF、PostScriptのいずれかが選択可能です。
- 各図面は、図面ごとの出力や複数の情報を重畳した出力等が選択可能です。



入力フォーマット（拡張子）

ACF: Atlas社製HYDROSWEEP
 ALL: Kongsberg社製EMシリーズ及びM3
 GSF: SAIC®社 Generic Sensor Format
 HSX: HYPACK社 統合型水路測量ソフトウェア
 HYPACK®
 JSF: Edgetech社 6205
 LOG: 古野電気社 海底地形探索装置 HS-600F
 R2S: R2Sonic社 Sonic series
 S7K: Teledyne Reson社 SeaBat series

Wmbf: ENL社 WASSP series
 XSE, MB41, NM: L-3 ELAC Nautik社 SeaBeam series
 XTF: Triton Imaging®社 eXtended Triton Format 81A, 81L: Imagenex社 881A/L Narrow Beam

SAICはScience Applications International Corporation社の登録商標です。
 HYPACKはHYPACK社の登録商標です。
 Triton ImagingはTriton Imaging社の登録商標です。

動作環境（推奨）

CPU: 6コア以上
 メモリ: 32GB以上
 ハードディスク: 空き容量50GB以上
 モニター解像度: 1920×1080ピクセル以上
 色数: True Color 32bits
 OS: Windows 10 日本語版 (64bit)
 USBポート: 4個

※デュアルヘッドに対応しています

